

# うちゅうせん新聞

広報係 09年9月26日発行 2号

仙台市天文ボランティア会報

## 例会より

場所：天文台研修室

**6月18日(土) 14:00~16:00 出席者8名**

例会では、7,8月の観望会の依頼の紹介がありました。結構回数が多くあり、分かる範囲で参加希望を募りました。

7月の日食ツアーの話題で盛り上がっていました。うちゅうせんから数名が中国に行く予定で、話を興味深く聞き入ってしまいました。晴れるといいですね。広報係としては記事がもらえると内心喜んでいました。

**7月25日(土) 14:00~16:00 出席者11名**

天文台の企画展「ガリレオから400年 宇宙のなぞに挑む」の初日のため、駐車場はいっぱいで、離れた臨時駐車場に廻される程で、1年前のオープン時のような賑わいでした。

例会では3日前の皆既日食ツアーから戻ってきたばかりで興奮冷めやらない雰囲気での報告会が中心となりました。今年の梅雨は明けそうにもなく、年初の期待を思うと裏切られた思いというのが実感ではないでしょうか。最後の「次回はリベンジを」との思いに同感でした。

**8月29日(土) 12:00~14:30 出席者8名**

夏も終わり、曇天バージョンばかりの観望会の報告がありました。9月からの観望会の予定など話し合われました。えぼしの観望会(遠刈田温泉主催)は、今年は曇天バージョンを行うことなどの報告がありました。詳細は船長が打ち合わせに行ってから、とのことでした。

観望会が、同じ日に重なることがあり、人員の振り分けを必要とされました。乗組員が少なくなったことを実感します。だれか・・・みなさん誘ってみましょう。



国際天文年の今年は日本で皆既日食が見られる大イベントもあってか観望会の依頼が多くなっているようです。8月は天気が恵まれない中参加された皆さん大変お疲れ様でした(編集部一同)

## 観望会より

**泉中央市民センター観望会 7月29日(水) 19:00~20:00(うちゅうせん5名、参加者60名)**

「星はともだち」と題して、内容は光害の話と星空観望会でした。雨天で星が見えないため、タイムリーな話題として船長より仙台では見れなかった日食の様子や写真解説に興味を持った様子でした。

雨の中たくさんの方が参加されました。話していることをメモする子供達が多く、天文の関心の高さを感じました。本当の を見せてあげたかったですね。参加賞として子どもには天体シール、大人の方には船長の写真を持って帰っていただきました。雨の中参加いただいたうちゅうせんの方々、ご苦労様でした。そろそろ梅雨明けしませんかねえ・・・。

**紫山・THE BOX 観望会 7月30日(木) 19:00~20:15(うちゅうせん4名、参加者18名)**

挨拶・自己紹介の後、大石さんの「今月の星空説明」:主催者作成のうちわ兼用?の星座早見盤を使っての内容でした。

引き続き、伊川さんの「迷子になったインディアン」船長より中国日食の話と3年後の金環食、26年後の皆既日食の話題を説明、小林さんの「オリオンとさそり」を聞いてもらいました。

最後の質問コーナーでは質問が一つだけ・・・小さいお子さんが多かった事と、同じ場所で3年目ですが5回目とあって、複数回参加の方も少数ながらおられました。始まる前騒いでいた子供たちが、終始おとなしく聞いてくれたのは楽しかったから?

参加賞は天文シールと天体写真でしたが、以前シールを貰った子供がいたためどちらかを選んでもらう事にしました。



**岩沼モンタナリゾート観望会 8月1日(土) 19:15~20:30(うちゅうせん9名、参加者約400名)**

「夕暮れクラシックコンサート&星空観察会」(主催:岩沼市)を宮城教育大学と合同実施。星空観察会は生憎の曇天で、室内の実施となりましたが、会場は超満員でした。宮教大側の「今月の星空説明」でスタート。

うちゅうせんのスタートは参加者9名が勢揃いしての挨拶から。その後星座物語の2本立て、引き続いた日食の写真を見ながらの中国日食報告、3年後の金環食、26年後の国内での皆既日食の予告も・・・

先日の部分日食が悪天で見られなかったせいでしょうか?日食話題を皆さん、熱心に聴いてました。

終了後、望遠鏡を体験してお帰りいただくべく、表に望遠鏡をズラリと並べて待機したんですが・・・タイミング悪く雨が降って来た為、中止せざるを得ませんでした。上弦3日後の綺麗なお月様をお見せしたかった!がうちゅうせん参加者全員の気持ちだったと思われまます。

**桂パークハウス中央北子供会観望会 8月3日(月) 19:00~21:30(うちゅうせん5名、参加者160名)**

「星をみる会」桂島緑地で月や星を見る予定だったんですが・・・梅雨明けがまだと言う事で4月から7回連続での曇天バージョンとなってしまいました。今回の星をみる会は、以前市民広場での星空ライブで望遠鏡を覗いて下さった方からの依頼で実現したものです。

参加申込みが多く1回では談話室に入りきれないという事で1時間の同じ内容を2回に分けて実施しました。低学年生にはチョット難しかったかも知れませんが、星座物語は目を輝かせ食い入るように見入っていたのが印象的でした。このような事がボランティアでの一番の報酬かも知れません!

**るぼぼ川崎(セトリ-キ-場)観望会 8月4日(火) 19:30~21:00(うちゅうせん5名、参加者40名)**

近くからの参加と思いきや、地元川崎の他に青根・大河原・村田・それに仙台からの方も・・・各地からの参加にも驚きましたが、悪天の中、遠くから参加されるだけあって皆さん熱心にメモを取りながら聞いていました。

**紫山・THE BOX 観望会 8月6日(木) 19:00~20:15(うちゅうせん7名、参加者57名)**

日中は幾分青空が見えましたが・・・やはり夜になってから曇ってしまいました。

それでも、挨拶・自己紹介が終わった後、今月の星空説明の途中で、オレンジ色の満月が雲間から顔を出したので、室内を中断し、急遽外へ出て貰いましたが、望遠鏡を覗く間も無く月は雲隠れしてしまいました。室内に戻ってもらい、今月の星空説明に戻り、その後は星座物語の豪華2本立てです。

迷子になったインディアン、引き続きオリオンとさそり、年少の子供たちが一番集中して見てくれるのが嬉しいです。最後に日食の話で終了。悪天で期待を裏切った部分日食から間もない事もあり、注目度は相変わらず高いようです。

お天気の割には参加者が多く、前回の18名を大きく上回る親子の参加が有りました。参加賞を差し上げ、お帰りに近藤さんが準備してくれた木星と土星の写真で疑似観望・望遠鏡を覗く体験をしてもらい解散となりました。

**南中山市民センター観望会 8月21日(金) 19:00~20:00(うちゅうせん4名、参加者45名)**

悪天にも拘らず大勢の参加者があった中、低学年生が多かった事もあり、木星など見て貰えればよかったんですが・・・天候には勝てません。

今月の星空説明・七夕物語・日食のお話・オリオンとさそりで55分。最後の質問コーナーでは星座表に記載されている「0等星ってなんですか?」の質問が一つだけ有りました。

参加賞としてお子様には天体シール・ご父兄には天体写真を1枚選んで貰ったの散会となりました。

**芦の口小学校観望会 8月28日(金) 《中止》**

**蔵王自然の家(山王小)観望会 8月28日(金) 19:00~20:40(うちゅうせん4名、参加者134名)**

多賀城・山王小5年生の二泊行事、一泊目の依頼。挨拶・自己紹介の後、今月の星空説明、迷子になったインディアン、日食の話と進み、約束の時間まで2分有ったので質問を受け、答えていたら2分オーバーしてしまいました。終始熱心に見聞きしてくれました。最後は体育館に準備した望遠鏡で木星を見る疑似観望を体験し終了しました。



## 🔥 企画展を見て

8月の例会終了後に仙台市天文台で開催されている企画展「ガリレオの天体観測から400年 宇宙の謎を解き明かす」を見ました。

入口近くには、ガリレイとニュートンの著書、望遠鏡が展示されていました。ガリレイの著書「星界の報告」(1610年)とニュートンの著書「光学 反射、屈折、光の伝搬と色について」(1704年)はどちらも実物の初版本です。又、出口近くには、バンベルヒ子午儀(1924年より1955年まで三鷹で日本標準時決定のために使用。)と眼視天頂義(1899年より1927年まで水沢で地球回転による緯度変化の観測のために使用。木村榮の2項発見にも寄与。)が展示されていました。天文学の先駆者、日本の先駆的天文観測の功績の証として、見応えは充分にありました。

加藤・小坂ホールの中には、最新の人工飛翔体や望遠鏡等の模型とこれらの観測機器が取得した天体の画像が展示されていました。飛翔体としては、赤外線天文衛星「あかり」、X線天文衛星「すざく」、太陽観測衛星「ひので」、月周回衛星「かぐや」、小惑星探査機「はやぶさ」が展示されていました。何れの画像も芸術的とも言える程見事で、天文学の最先端の成果の一端を知る事ができました。オリオン座については、異なる光(電磁波)の波長で別々の観測機器で取得した画像を一緒に並べて、それぞれの観測機器の特徴、役割が視覚的に分かりやすく示されていたのではないかと思います。それぞれの最新成果の展示の傍には、その展示の基礎(例えば分光、赤外線、重力の井戸)を示す演示機器が置かれていて、主に子供達が熱心に機器を操作していました。他にも銀河団の進化のシミュレーションのデモも見ることができ、大規模な数値計算の一端を見る事ができました。

出口の前にはガリレイの使用した望遠鏡のレプリカ(接眼側が凹レンズ)が置かれていました。遠くの月の写真を見ると、像が逆さにならないが、視野が狭く、ガリレイも苦心しながら天体をスケッチしたのではないかと想像しました。総じて興味深く見る事ができました。(今)

## 特集 <皆既日食の日「その時・私は」>

2009 天文現象の最大イベントについて乗組員の投稿をまとめました。全体としては仕事の途中、時々曇天を見ながらため息といった方が大半の様でした。

※ 今回はコロナ流線の細部構造を見るため 15cm 屈折を用意しましたが残念な結果に終わりました。雲の状態は月齢 10 の月面にかすかにクレーターが見える程度の雲量で、コロナがわずかに見え、終盤プロミネンスを一つ確認しました。これでも恵まれた方と満足しないといけなかな。遠藤(観測地:中国・杭州)

当日はNHKの日食ライブを見ていました。トカラ・悪石島の暴風雨の様子が映し出され、屋久島では雨の中で真っ暗になる様子が映し出されました。「凄いことになっているなあ〜」と、ため息がでました。その後、硫黄島から、快晴での皆既が映し出され、海上のパンフィックビーナスからの素晴らしい皆既の映像が映し出されました。NHKの美人アナ・神田愛花さんが、「うわー!すご〜!!」と絶叫しているのが印象的でした。

1991年にメキシコにて、快晴の皆既日食を見ましたので、その映像は、まさにその時の興奮を思い出させるものでして、お茶の間にいながら、行ってきた気分になりました。一度だけでも快晴の皆既日食を見れば、まあ、応用がきくのです(笑)。

あいにくの雨降りでしたが、会社を休んでインターネットのLIVE中継とテレビでリアルタイムで楽しんでました。夜の再放送までしっかり見るためこの日はやはりチャンネル権を確保してました。

計画では、上海から杭州へそして西湖のほとりのホテルに滞在し、そこから日蝕を見るつもりでした。いろいろ事情がチェンジして、行けなくなってしまったので、22日の当日はとにかく、どこにも行かないで、家のベランダで、見ることにしていました。

残念ながら、塩釜は霧雨まで降って、太陽の位置などまったく分からない状態でした。

そこで、NHKと民放を見比べましたが、NHKはお金もかけているし、内容もよさそうなので、NHKだけに専念しました。暴風雨の悪石島、雨の屋久島、ぱしふいっくびーなす号の船上の日蝕、そして、硫黄島の日蝕のシーンを見ることができました。HDへの記録もばっちりしました。おかげで、最新鋭の機材でしかも、ベストの場所で撮影した映像を見ることができました。

◇ 中国浙江省海寧市のゴルフ場で、皆既日食を体験 当日はホテルを5時30分に出発し、7時頃ゴルフ場に到着しました。う〜ん曇り空・・・雨まで降る始末。ゴルフ場のビブルームで呆然と中国各地の部分食の中継を見ていると、雲が切れて太陽が見えてきました。何と雲がフィルター代わりになり肉眼でも見え、Nikonの双眼鏡の太陽フィルターを慌てて外したり、日食グラスで見たりと以外と忙しいものでした。コンパクトデジカメは最大ズームで、何とか部分食を写す事が出来ました。皆既中は真っ暗で、空には低空の夕焼け・金星・シリウス?を見る事が出来たのが感動的でした。(右の写真は第1接触食80%位)

◎ 工作中でしたが、部分日蝕を見れないだろうかと、時々窓から外を眺めましたが、雨も降っており、無理だろうとあきらめてました。一瞬だけ仙台で雲間から見れたそうで、もう少し粘っていればと後悔しています。



## 編集後記

夏至から7/7(七夕)まで100万人のキャンドルナイトとして毎年、電気を消してスローな夜のキャッチフレーズで官民上げて(一部ですが)取り組んでいるので協力しようと思いましたが受験生が2人の我が家ではそれどころではないと一蹴されました。外も曇天でのため星も見れず、計画倒れに終わりました。(辺) ところで明日は立秋。夏は何処に行っているのでしょうか?

今年は東北南部で6年ぶりに梅雨明けが特定されない年となりました。ここ数年は連日猛暑となる夏が続いていたのに対し、今年は真夏日の日数が減少しました。暑くないという点で屋内では過ごしやすかったですが、外出時は雨天対策に手間をかける場面が多々ありました。秋は星空が見えて快適に過ごせる日が多くなるよう、願っています。(今)

7月8月、泉方面の観望会が多くあり参加してきましたが、ドンテーン・ドンテーンの繰り返しでした。しかしながら主催して下さった方々から「またお願いします」なんて言われると嬉しくなりますね。デザート付きの曇天バージョンも経験でき、それなりに楽しんでいました。(石)



今年の夏は甲子園応援と大曲花火大会で(仕事です!)終始の8月でした。とりわけ観客者数68万人!という大曲では、打ち上げ花火の背景に星々が眺められる晴天となり、日本一、いや世界一?の花火と星空の共演ショーは圧巻!帰りは夜行でしんどいながらも一粒で2度美味しい夏の思い出でした。(なべ)

9月のシルバーウィーク中、岩手方面に行ってきました。目的は、小岩井農場 まきばの天文館のスターウオッチング。生憎の曇り空の為中止。「うちゅうせんは曇天バージョンもあるのに!!」と泣く泣くAPPI高原に向かいました。

APPIも曇り空。ここで宿泊客に星見せが出来たら、喜ばれるだろうなあと思いつつ、曇り空を睨んでいたところ、なんとAPPIの企画にあったのです。「秋の星空観察会」が・・・ホテルから5分の所でガイドの説明を聞きながらの星空観察、お一人様1000円とのことでした。今回はダメでしたが・・・

次の日は、BBQ食べ放題・豚さんレース・無料の Gondola に乗り、秋晴れを堪能して来ました。(伊)

## 伝言板の話題(うちゅうせんホム)より

天文台プラネの星空ライブ 投稿者: @塩釜 投稿日:2009年8月24日

昨日、天文台の年間パスポート登録をしました。天文台のプラネタリウム「星空ライブ」を久々に見ました。

ここ3か月ほどは、予約はするけど「星空ライブ」はみる機会を逃していました。

内容が大きく進化チェンジしていたのにびっくり。 仙台の明るい町中から見る星空。 そして満天の蔵王の星空。方角も変化させたりなかなか見ごたえがありました。